

計画的なまちづくりの推進

- 鶴瀬駅東西口で土地区画整理事業を推進
鶴瀬駅東口土地区画整理事業
(5億6,959万円 特別会計決算額)
鶴瀬駅西口土地区画整理事業
(6億6,227万円 特別会計決算額)
- 水子貝塚東土地区画整理組合の設立に補助 (1,000万円)
- 市民緑地「西渡戸」の用地を取得 (1億5,110万円)



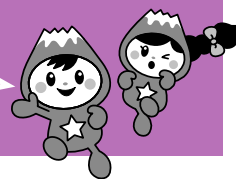
鶴瀬駅東口土地区画整理事業

市制施行40周年記念事業・窓口サービス

- 難波田城公園の古民家を使い、昔の結婚式を再現(54万円)
- 公募の市民合唱団などによる「キラリと輝く市民コンサート」を実施 (580万円)
- 総額2億2千万円の市内共通商品券を発行 (2,541万円)
- 鶴瀬駅西口のサンライトホールに「ふるさとハローワーク」を開設 (180万円)

平成24年度に取り組んだ
主な事業

子育て支援の充実や災害に強いまちづくりなど、いろいろな事業に取り組んだよ。



キラリと輝く市民コンサート

子育て支援・学校施設の整備

- 小中学生のこども医療費の窓口払いを廃止 (3億7,811万円)
- 平成25年4月開園の富士見れんげ保育園の施設整備に補助 (1億4,925万円)
- 小中学校の教室へエアコンを整備 (1億5,000万円)
- 針ヶ谷小学校の大規模改造工事を実施 (1億4,505万円)
- 勝瀬小、本郷中のトイレを改修 (5,927万円)



富士見れんげ保育園

災害に強い安全・安心なまちづくり

- 健康増進センターの耐震補強工事を実施 (6,424万円)
- 鶴瀬公民館の耐震補強工事を実施 (2,169万円)
- 市役所の非常用発電設備を更新 (4,538万円)
- 32団体の自主防災組織に補助 (181万円)
- 住宅の耐震診断調査や耐震改修工事に補助 (39万円)



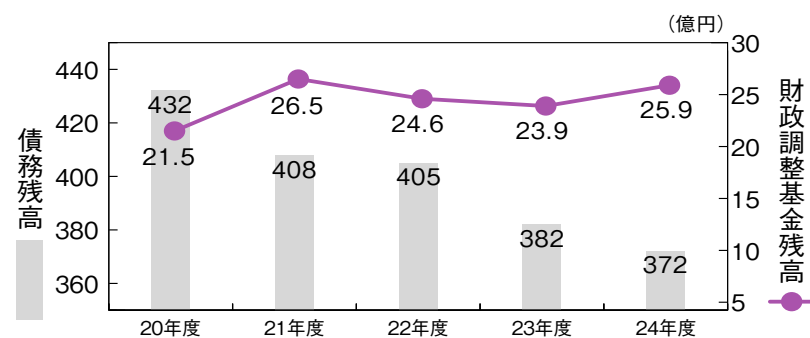
つるせ台小学校校区合同防災訓練

「住みたいまち、住み続けたいまち」を目指して、これからもいろいろなことに取り組んでいくよ。



富士見市マスコットキャラクター ふわっぴー

債務と貯金の状況



債務残高(市の全会計合計) 372 億円

債務残高は、市債(借金)の借入抑制の取り組みなどにより、前年度と比べ10億円減少しています。

貯金額(財政調整基金残高) 25.9億円

貯金額は、市税や財産収入などの歳入(収入)の増加により、前年度と比べ2億円増加しています。

財政の健全化に関する状況

健全化判断比率	平成24年度決算実績値	早期健全化団体基準値	財政再生団体基準値
実質赤字比率	— (赤字額なし)	12.54%	20.00%
連結実質赤字比率	— (赤字額なし)	17.54%	30.00%
実質公債費比率	5.9%	25.00%	35.00%
将来負担比率	21.6%	350.0%	

国基準(健全化判断比率)

健全な財政状況を維持しています
法に基づく健全化判断比率は、すべての項目において基準値以下であり、各数値も前年度に比べて改善しています。

本市の独自基準

(財政運営判断指標)

5指標中4指標が改善しました
条例に基づく財政運営判断指標は、4指標で数値が改善しており、これまでの計画行政や行財政改革の取り組みの効果があらわれています。

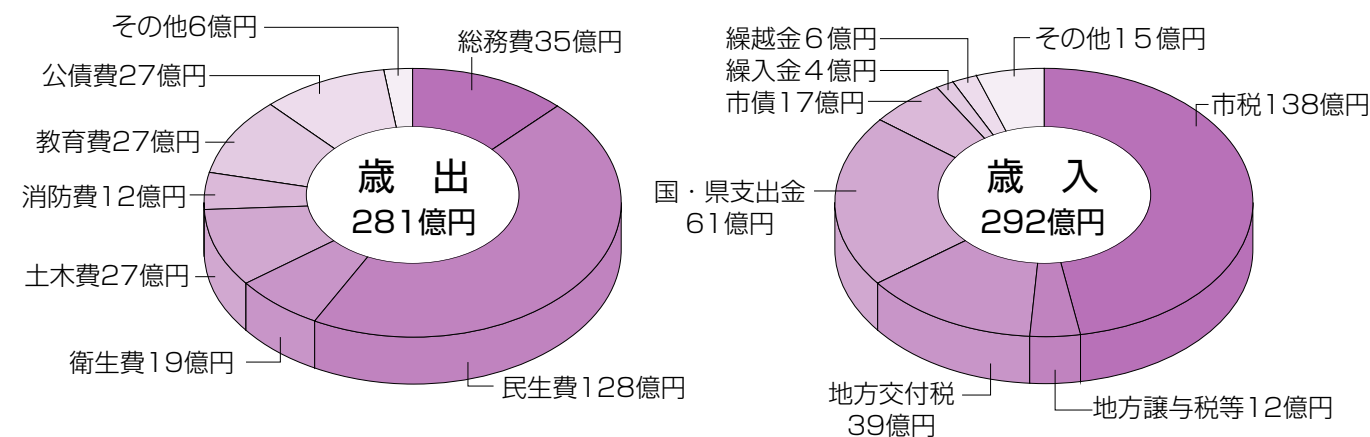
財政運営判断指標	平成23年度決算実績値	平成24年度決算実績値	財政運営目標値(29年度決算目標値)
財政力指数	0.771	0.749	0.800以上
経常収支比率	89.0% (91.4%)	88.7% (91.1%)	88%以下
財政調整基金比率	12.5%	13.5%	12.5%以上
地方債残高比率	119%	115%	110%以下
債務償還可能年限	4.8年	4.7年	4年以下

※経常収支比率の数値は、仮に臨時財政対策債発行可能額を全額借り入れた場合の算定数値であり、()内の数値は実際の算定数値となります。

平成24年度一般会計決算額

決算概要

歳入(収入)は前年度と比べ7,737万円増の292億2,241万円、歳出(支出)は前年度と比べ3,079万円減の281億2,523万円となり、翌年度に繰り越すべき財源1億9,668万円を除いた最終的な収支は9億50万円の黒字となりました。



市民1人あたりに使われたお金
260,443円 (前年度比 △902円)

市民1人あたり市税負担
127,779円 (前年度比 +2,418円)

歳出(支出)の主な特徴

- 国民健康保険特別会計への繰出金(9.5億円)や生活保護費(24.8億円)などの増により民生費が増えました(9.2億円の増)
- エアコン設置など小中学校の施設整備などにより教育費が増えました(2億円の増)
- 新消防庁舎の建設により消防費が増えました(1.5億円の増)

歳入(収入)の主な特徴

- 旧上沢小学校跡地の売却などにより財産収入が増えました(4.8億円の増)
- 新たなまちづくりの進展や税制改正などにより市税収入が増えました(2.9億円の増)
- 借換債の減などにより市債収入が減りました(9.6億円の減)

平成24年度のお金の使いみち
一般会計決算の概要

問合せ/財政課 内231